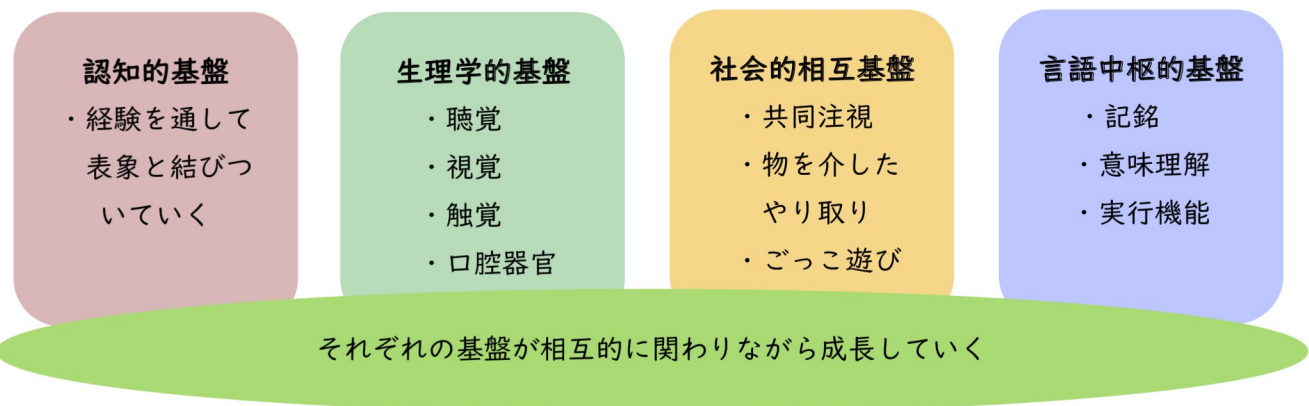
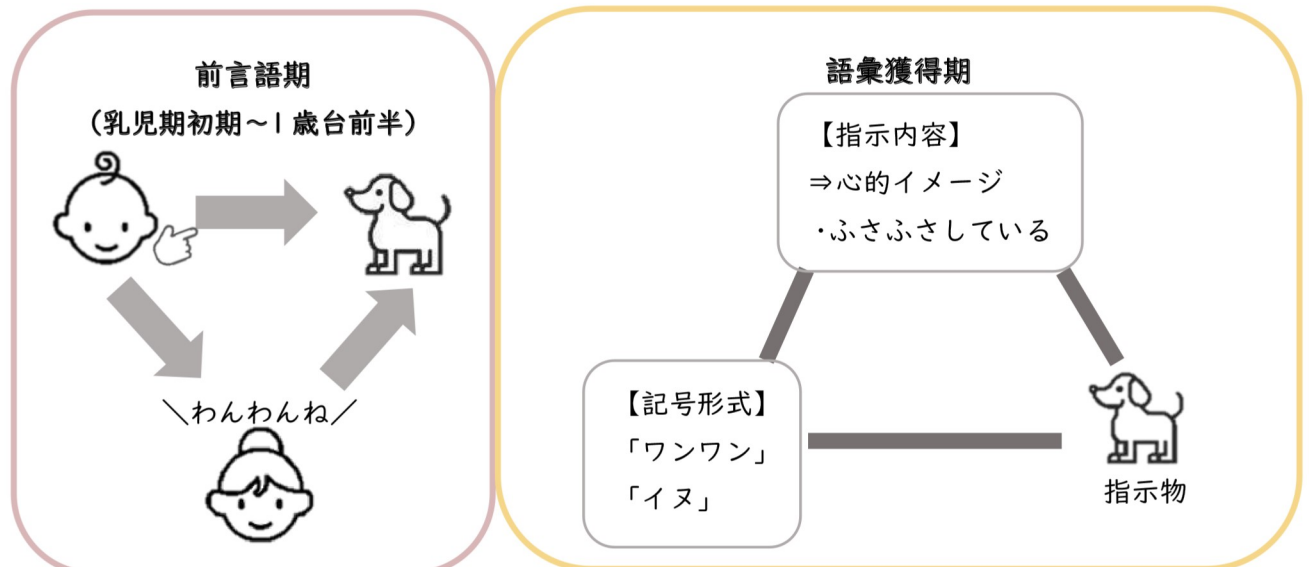


【言語発達を支える基盤】



【言語発達の有無と言語発達のレベル】



**幼児期前期(1歳半～3歳)**

- ・ 助詞の誤りは3歳後半までみられる。
- ・ 2歳～：過去の事柄を話す。
- ・ 3歳後半～：出来事を繋げて話す

**幼児期後期(4～5歳)**

- ・ 格助詞を正しく使用。
- ・ 4歳～：助詞を手掛かりとして語順が異なっても同じ内容であることが分かる。(統語方略が始まる)

**学童期(6歳以上)**

- ・ コミュニケーション言語から学習言語へ。
- ・ 文字を媒体として、語彙を身につける。
- ★文字を読めない場合に、読みに変わる保障が必要

【言語の評価】

- ・ LC スケール ・ LCSA ・ ITPA 言語学習診断検査
- ・ 国リハ式<S-S法>言語発達遅滞検査 ・ 質問－応答関係検査 ・ ことばのテスト絵本